

2025 年 5 月 16 日

各 位

東レ株式会社との共同開発による長時間心電図記録器110eの供給を開始 ～14日間の連続測定可能な長時間心電図記録器～

株式会社ジェイ・エム・エス（本社：広島県広島市、代表取締役社長：桂 龍司）は、東レ株式会社と共同開発した長時間心電図記録器110eの供給を開始致しましたのでお知らせします。

長時間心電図記録器110eは、14日間の連続測定が可能な長時間心電図記録器です。当社は長年の医療機器製造で培った技術を活かし、110eの設計・開発を担当し、東レ株式会社が開発したドライ電極、専用ウェアと共に心電図検査サービス「hitoe® BK 心電図検査サービス」として東レ・メディカル株式会社より医療機関に提供されております。

心電図の測定は、主に循環器の診療で不整脈を診断するために行われています。なかでも、加齢とともに増えることが知られている心房細動と呼ばれる不整脈は、脳梗塞（心原性脳塞栓症^{しんげんせいのうそくせんしょう}）を起こす可能性があり、高血圧や糖尿病などの患者さんはその発症リスクが高まることが知られています^(※1)。心房細動患者数は2030年には100万人に達すると推測されており^(※2)、心房細動を早期に発見して脳梗塞予防のための治療を開始することは、脳梗塞の発症リスクを低減することにつながります。

一般的に従来型の24時間ホルター心電図よりも長時間心電図の方が不整脈の検出率が高いとされています。例えば、カテーテルアブレーション^(※3)後の心房細動再発の検出率は、2週間の心電図記録を行うことで24時間ホルター心電図の3倍になることが報告されています^(※4)。

この度の長時間心電図記録器の開発により、デジタルヘルス技術を活用した医療サービスの拡充を推進いたします。特に、透析治療分野においては、透析患者さんの不整脈による突然死リスクの評価に有用な情報を提供し、適切な管理や治療介入の機会を増やすことが期待できます。また、本製品で得られた技術や知見を、当社が長年取り組んできた透析治療分野及び在宅医療分野に応用し、医療のデジタル化を推進してまいります。これらの取り組みを通じて、当社が掲げるサステナビリティ経営におけるマテリアリティの一つである『予防医療サービスの拡充』を推進し、健康でより豊かな生活に貢献してまいります。

* hitoe®は、東レ株式会社および日本電信電話株式会社の登録商標です



長時間心電図記録器110e



110eを装着した専用ウェア

Press Release

【製品情報】

製造販売業者	株式会社ジェイ・エム・エス
販売名	心電図記録器 110e
認証番号	306ADBZX00070000
一般的名称	長時間心電用データレコーダ(JMDNコード:35162000)
種別	管理医療機器 / 特定保守管理医療機器該当

【参考資料】

*1 Suzuki S, Yamashita T, Okumura K, et al.: Incidence of ischemic stroke in Japanese patients with atrial fibrillation not receiving anticoagulationtherapy — pooled analysis of the Shinken Database, J-RHYTHM Registry, and Fushimi AF Registry. Circ J 2015; 79: 432—438.

*2 Inoue H, Fujiki A, Origasa H, et al.: Prevalence of atrial fibrillation in the general population of Japan: an analysis based on periodic health examination. Int J Cardiol 2009; 137: 102—107.

*3 心房細動の原因となる心臓内の異常な電気信号を遮断するためにカテーテルを心臓内に挿入し特定の部位を熱や冷却により焼灼する治療法です

*4 T. Machino, et al. PlosOne, 2023; 18(2): e0281818

本リリースに掲載されている将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、社会情勢の大きな変化などさまざまな潜在的リスクや不確実性が含まれております。当情報につきましては発行日時点のものであり将来的に変更される可能性のあることをご承知おき下さい。

お問い合わせ先 経営戦略室 経営企画グループ(電 話) 082-243-9059
(e-mail) pub-bpd@jms.cc